

令和6年度 事業計画 (案)

物価高による観光客の動向変容、バスやタクシー等の運送分野における人手不足を背景に観光業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。しかしながら、昨年度から続く市内の主要観光地である赤目四十八滝周辺の整備は、名張市の観光産業にとって明るいトピックとして市内外から注目を集めている。令和7年4月には大阪・関西万博の開幕が予定されており、国内外から多くの旅行者が関西圏に訪れる絶好の好機を控えている。引き続き行政、関係機関及び各種団体が一体となり、市内の観光関連産業の効率化に取り組み、観光誘客・観光振興を図ることができるよう、一般社団法人名張市観光協会（以下、「観光協会」という。）が果たすべき役割を明確化し、積極的に事業を展開する。

I 公益事業に関わる事業

1 観光まち歩き事業

(1) ボランティアガイドと歩こう (全5回)

名張市広報及び観光協会公式ホームページにより公募する。(定員各60名)

開催予定日	テーマ等
4月 1日 (月)	「桜咲く青蓮寺湖畔を歩く」(約6Km)
5月 20日 (月)	「新緑の赤目の里を巡る」(約6Km)
10月 20日 (日)	「名張市もあつた江戸期の新田開発」(約6Km)
11月 18日 (月)	「初瀬街道 名張から蔵持、桔梗が丘」(約6Km)
12月 8日 (日)	「旧町 句碑巡り」(約4Km)

(2) 『ボランティアガイド「おきつも」』の支援

観光ボランティアガイドで組織された団体『ボランティアガイド「おきつも」』を支援する。

○定例会

月1回開催の定例会に出席し、ボランティアガイドと観光協会の情報共有に努め、観光資源を発掘し観光誘客を推進する。

○ボランティアガイド研修会

他市町村の観光ボランティアガイドのノウハウを吸収するため、ボランティアガイド「おきつも」が開催する先進地視察研修会の実施を支援する。また、市内で地域づくり組織等が開催する郷土を知るための学習会への積極的な参加を促すため、開催情報等を提供する。

(3) 観光ボランティアガイドの活用促進

名張市の文化に触れ、地域の住民と交流しながら豊かで深い体験を味わっていただくために、ボランティアガイドを積極的に紹介する。

2 なばり観光案内所

名張のまち歩きの出発点として、来訪者に対し季節やトレンドに応じた適切な観光情報を提供する。

II 観光客の誘致促進に関する事業

- 1 インフォメーション業務について
なばり観光案内所機能の充実
 - 訪日外国人の受け入れ体制の充実
 - パンフレット類配架スペース、ミニイベントスペースの有効活用
 - 適正な職員配置による休業日の設定（令和6年10月予定）

- 2 情報発信について
 - (1) ホームページの充実とSNSによる情報発信の強化
 - (2) ガイドマップ、ポスター及びチラシによる情報発信
 - (3) Googleビジネスプロフィールの活用による発信力の強化

- 3 プロモーション事業の推進について
 - (1) 会員等の企画・提案によるイベント等の開催
 - ①名張駅前イルミネーション事業の運営体制を再構築する。
 - ②会員及び市民の自主的な企画・提案事業に対し、観光協会として積極的に参画し、イベント等の開催を支援する。必要に応じ、観光協会の共催又は後援事業として位置付けるとともに、名張市への誘客が見込めるイベント、理事会で認められたイベントに対し、補助金を交付する。また、会員の自主性の尊重、非会員賛同者の積極的な受け入れ等会員の満足度向上と新たな会員確保につなげる。
 - (2) 観光キャンペーン等の推進
三重県、名張市、伊賀市、三重県観光連盟、東奈良名張ツーリズム・マーケティング、特定非営利活動法人赤目四十八滝溪谷保勝会と連携することによりプロモーション活動を効果的に推進する。
 - (3) 各種イベントへの参画
観光誘客を目的に各種イベントに参画する。
名張市の地域経済の活性化を図るために各種イベントに参画する。
名張川納涼花火大会（実行委員会）、名張桜まつり（実行協議会）等
 - (4) 企業主催イベントへの共催・後援
近畿日本鉄道株式会社、三重交通株式会社等の民間企業や民間団体が主催する事業と連携する。
 - (5) 市民団体・教育機関等との連携
観光誘客や地域活性化を目的とする市民団体や教育機関等が実施するイベントの主催者と連携を図る。

- 4 観光商品の販売促進・開発について
 - (1) ふるさと納税の返礼品受発注委託業務
新たな受注チャンネルの導入による収益確保に努めるほか、会員の新規企画の具体化を積極的に支援する。